

# CMS 操作説明書

---

第 1. 0 版

# 目次

---

1. はじめに	.....	P2
2. CMSについて	.....	P3
3. MODXについて	.....	P4
4. 項目説明	.....	P5
4. 1. ログイン	.....	P6
4. 2. 管理画面	.....	P7
5. 操作説明	.....	P19
5. 1. リソースの投稿（作成）	.....	P20
5. 2. テンプレートの編集	.....	P29
5. 3. その他	.....	P31
6. 特記事項	.....	P39
7. 参考URL	.....	P40
8. お問い合わせ	.....	P41

# 1. はじめに

当説明書は、CMSであるMODX(モドエックス・モッドエックス・モードエクス)を用いて構築したサイトを管理するユーザー向けの資料となります。

MODXの主な機能、操作について、以下のような構成で記載しております。

## <<説明書の全体構成>>

CMSとは

MODXとは

MODXの機能説明

MODXの操作説明

MODXでよく利用される管理機能について



全体を通じて、CMSからMODXの概要、MODXの基本機能から、基本操作、MODXでサイトを管理するにあたってのポイント等を把握することができます。

当説明書は、MODXの基本的な事項に重点を置いて記載しております。

より細かい情報をお求めの方は、当資料の「7. 参考URL」に記載しておりますURLを参照下さい。

MODXは、軽量動作・自由度の高いデザインワーク・習得のしやすさを特長とするサイト管理ツールです。

ユーザーがサイトを効率よく管理するために最適なツールとして大変有益なCMSになると考えます。

当説明書は、以下のバージョンのMODXに関して記載しております。

MODX Evolution 1.0.10J revision1

リリース日：2013年6月24日

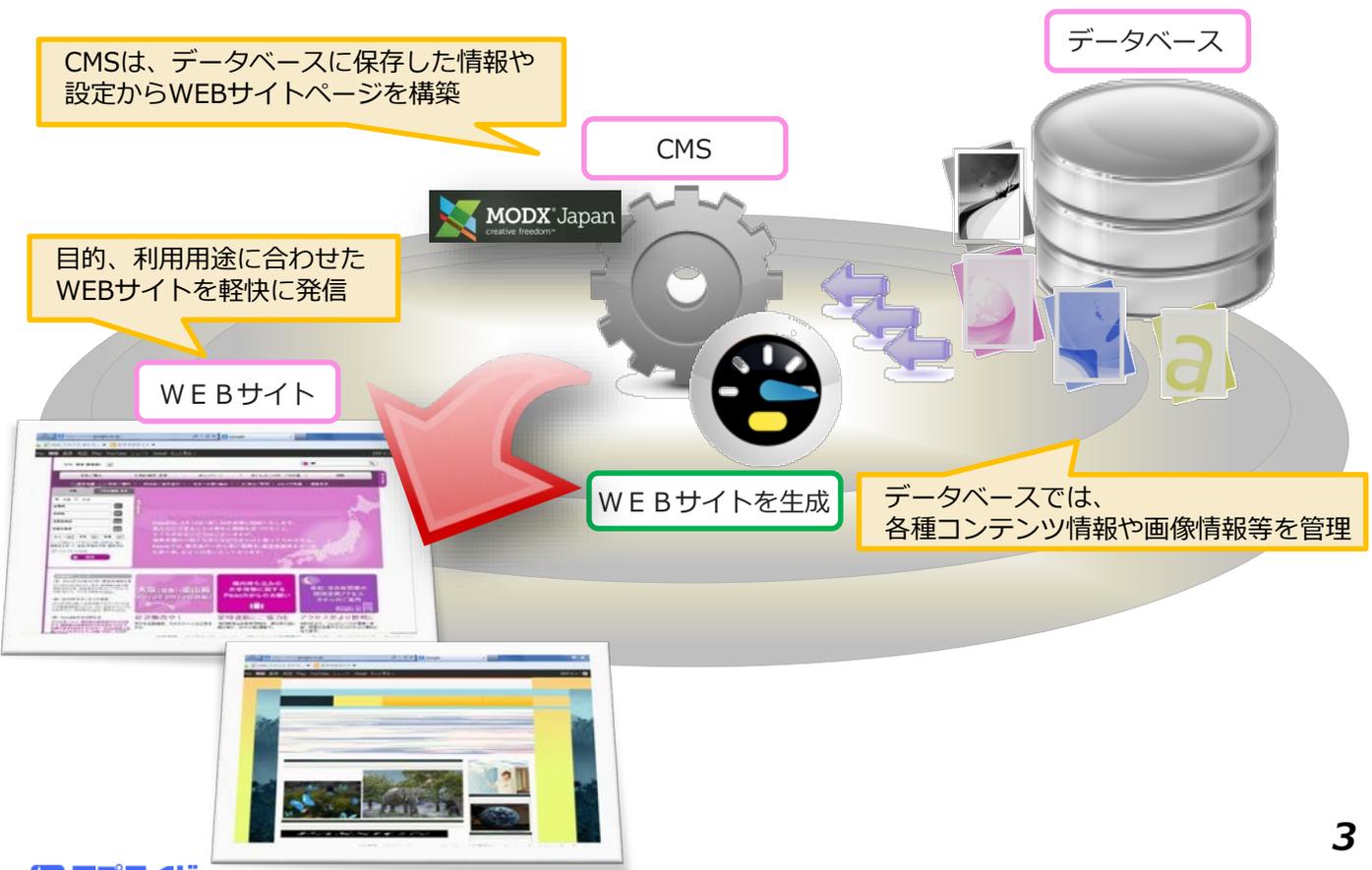
## 2. CMSについて

### ■ CMSとは

コンテンツ管理システム（Content Management System）  
Webコンテンツを構成するフレームやテキスト、画像やレイアウト情報などを一元管理し、サイトの構築や編集ができるシステムです。  
基本的に、コンテンツ管理の為、DBを保持しています。

### ■ CMSのメリット

- ・コンテンツはデータベースで管理するため、デザインと切り離なされており、Webサイトのリニューアルを比較的簡単に行える。
- ・プラグインやモジュールが用意されており、機能追加しやすい。
- ・サイト管理者が簡単にページを追加編集でき、頻繁にサイトを更新することができる。
- ・複数人でコンテンツの更新ができ、それぞれの更新者の権限を分けることができる。



# 3. MODXについて

## ■ MODXとは

CMSのWEBサイト管理ツールです。  
GPLライセンスで配布されており、  
個人法人問わず誰でも無償で利用できます。  
一度、WEBページをMODXにて  
CMS化してしまえば、簡単にページの追加や  
更新などが行えます。PHPやDBの知識が  
あれば独自でカスタマイズ機能  
を作成することも可能です。



MODXの公式ページ

MODXには、大きく2つの分類があります。「**Evolution**」と「**Revolution**」です。  
本説明書では、「Evolution」を対象にしております。

「Evolution」は、比較的システム規模が小さいサイトを対象としています。  
1万ページを超える規模のサイトでも安定動作する実績があります。  
「Revolution」は、大規模サイト向けです。必要に応じて選択して下さい。

## Evolution



動作(ページの表示)が軽い。オープンソースCMSとしてはトップクラス。  
システムの規模が小さいため、問題解決が早い。  
日本国内で採用実績が多く、情報も豊富。  
日本語化・日本語対応が充実しており、管理画面ごと納品するケースでも安心して渡せる。  
1.0.6J-r5以降からは、1万ページを超える規模のサイトでも安定動作。

## Revolution

ひとつのコア・ひとつの管理画面で複数のサイトを管理できる。  
拡張機能のインストールが簡単。拡張機能探しからインストールまで、管理画面内でワンストップで行なうことができる。  
オブジェクト指向。スニペットやプラグインのコードはincludeで読み込まれる。  
高い自由度を持つパーサー。EvolutionのPHPプラグインよりも柔軟なコンテンツ加工を副作用の心配なく行なうことができる。  
管理画面のメニュー構成を簡単なマウス操作だけで自由に変更できる。  
コアディレクトリを任意の階層に設置できるためセキュリティ面で安心。

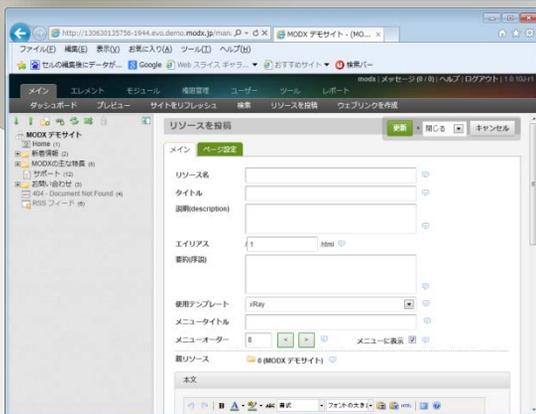
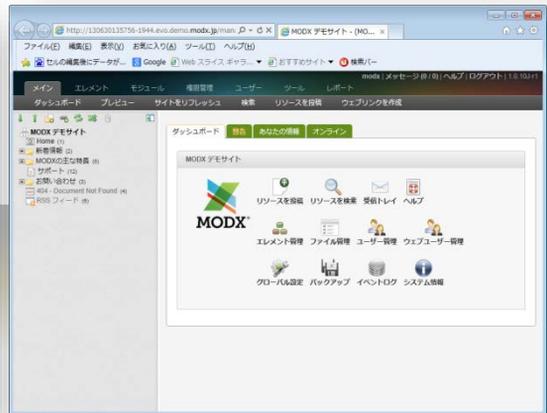
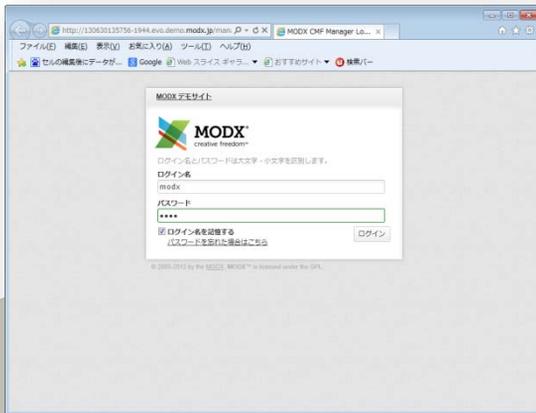
# 4. 項目説明

MODXの各項目について説明します。

MODXは、大きく以下の項目で構成されています。

- ログイン画面
- 管理画面
  - ショートカットメニュー
  - グローバルメニュー
  - リソースツリー

それぞれのメニューでどのような機能があるのか？  
次頁から説明します。



# 4. 1. ログイン

## ■ ログイン画面

MODXの管理画面へのログイン画面になります。  
当機能を利用し、MODXの管理画面へ管理者としてログインします。



管理者のログイン名およびパスワードは、MODXインストール時に設定します。

チェックボックス[ログイン名を記憶する]の機能を使用するには、ブラウザーがクッキー情報を受け付けるよう設定が必要となります。PCを他のユーザーと共有で使用する場合はセキュリティ上、チェックを入れないことを奨励します。

ログイン名/パスワードを忘れた場合は[パスワードを忘れた場合はこちら]を選択し、ユーザー設定時に登録してあるメールアドレスを入力することで、再設定が可能です。



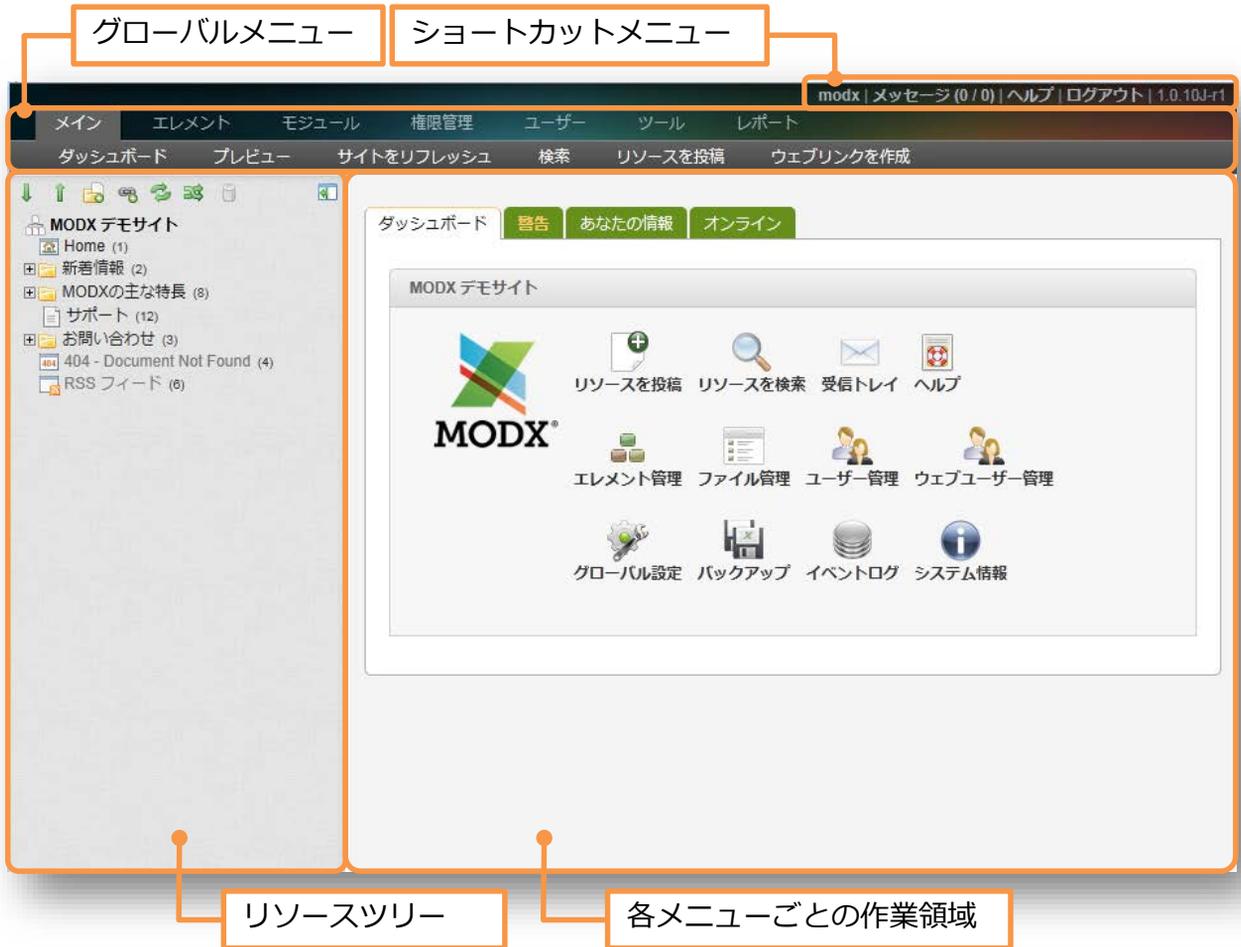
**複数のユーザーが同時にログインし操作することは可能ですが、コンテンツの編集などで同一ページの修正を行った場合、保存した順に上書き処理を行います。  
ご注意ください。**

# 4. 2. 管理画面

## ■ 管理画面

MODXで管理するコンテンツや機能の管理操作全てを行う画面になります。  
管理画面は以下の4項目で構成されます。

- ・ ショートカットメニュー
- ・ グローバルメニュー
- ・ リソースツリー
- ・ 各メニューごとの作業領域



## 4. 2. 管理画面

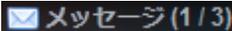
### ■ ショートカットメニュー

ショートカットメニューは以下の5項目で構成されます。

- ・ ログイン名
- ・ メッセージ
- ・ ヘルプ
- ・ ログアウト
- ・ MODXバージョン



### ○ 項目説明

No	名称	説明
1	ログイン名	ログインユーザーのログイン名を表示します。 クリックすると「ユーザー／プロフィール」へ遷移します。
2	メッセージ	ログインユーザーへの受信メッセージを 「（既読メッセージ／全受信メッセージ）」の形式で表示します。 メッセージ受信時は、以下のように表示します。  クリックすると「ユーザー／メッセージ」へ遷移します。
3	ヘルプ	MODXのヘルプ情報を表示します。
4	ログアウト	クリックするとログアウトします。
5	MODXバージョン	現在利用しているMODXのバージョンを表示します。

# 4. 2. 管理画面

## ■ グローバルメニュー

グローバルメニューは大きく分けて以下の7項目で構成されます。  
当説明書では、大分類と称します。

- ・ メイン
- ・ エレメント
- ・ モジュール
- ・ 権限管理
- ・ ユーザー
- ・ ツール
- ・ レポート

ここではこれらの大分類（7項目）を基に全51機能について説明します。

modx | メッセージ (0 / 0) | ヘルプ | ログアウト | 1.0.10J-r1

メイン	エレメント	モジュール	権限管理	ユーザー	ツール	レポート
ダッシュボード	プレビュー	サイトをリフレッシュ	検索	リソースを投稿	ウェブリンクを作成	

No	大分類	中分類	小分類	No	大分類	中分類	小分類	
1	メイン	ダッシュボード	ダッシュボード	29	ユーザー	プロフィール	プロフィール	
2			警告	30			管理画面の設定	
3			あなたの情報	31			パスワード変更	
4			オンライン	32			メッセージ	
5			プレビュー	プレビュー	33	ツール	バックアップ・リストア	バックアップ
6			サイトをリフレッシュ	サイトをリフレッシュ	34			リストア
7			検索	検索	35			スナップショット
8			リソースを投稿	メイン	36			インポート
9				ページ設定	37			エクスポート
10			ウェブリンクを作成	メイン	38			ヘルプ
11				ページ設定	39			グローバル設定
12	エレメント	エレメント管理	テンプレート	40				サイト
13			テンプレート変数	41	フレンドリーURL			
14			チャンク	42	セキュリティ			
15			スニペット	43	管理画面の設定			
16			プラグイン	44	ファイル管理の設定			
17			エレメント一覧	45	公開状態の一覧			
18			ファイル管理	ファイル管理	46	イベントログ		
19			モジュール	モジュール管理	モジュール管理	47	管理操作ログ	管理操作ログ
20	Doc Manager	テンプレート選択			48	システム情報	システム情報	
21		テンプレート変数			49		詳細情報	
22		アクセス許可			50		最近編集したリソース	
23		メニュー整列			51		テーブル一覧	
24		その他					オンラインユーザ	
25	権限管理	ユーザ管理			ユーザ管理			
26					ウェブユーザ管理	ウェブユーザを作成		
27			ロール管理	ロールを作成				
28			ロックを解除	ロックを解除				

## 4. 2. 管理画面

### ■グローバルメニュー【メイン】



#### ○項目説明

No	大分類	中分類	小分類	説明
1	メイン	ダッシュボード	ダッシュボード	ショートカットアイコンより各機能を実行します。
2			警告	警告を表示します。
3			あなたの情報	直近で編集・作成したリソースと、ログインユーザー情報を表示します。
4			オンライン	管理画面にログインしている全てのユーザーを表示します。
5		プレビュー	プレビュー	新規ウィンドウまたは新規タブにより、現在のサイトを表示します。
6		サイトをリフレッシュ	サイトをリフレッシュ	タブを選択した時点で、サイトの表示に使用されているキャッシュを削除します。
7		検索	検索	リソースの情報をID・リソース名・タイトル・エイリアス・URL・本文より検索します。
8		リソースを投稿	メイン	新規リソースの基本情報を入力します。
9			ページ設定	新規リソースの設定情報を入力します。
10		ウェブリンクを作成	メイン	新規ウェブリンクの基本情報を入力します。
11			ページ設定	新規ウェブリンクの設定情報を入力します。

## 4. 2. 管理画面

### ■グローバルメニュー【エレメント】



#### ○項目説明

No	大分類	中分類	小分類	説明
12	エレメント	エレメント管理	テンプレート	各リソースのデザインとなるHTML型のテンプレートの管理・新規作成・編集 および各テンプレートのカテゴリ分けを行います。
13			テンプレート変数	テンプレート内で使用する「テンプレート変数」の作成・編集・カテゴリ分けを行います。
14			チャンク	テンプレート内で使用する「チャンク」の作成・編集・カテゴリ分けを行います。
15			スニペット	テンプレートおよびリソース内で使用する「スニペット」の作成・編集・カテゴリ分けを行います。
16			プラグイン	サイト内で各種機能を提供するプラグイン形式のPHPプログラムの管理を行います。
17			エレメント一覧	各エレメント要素をカテゴリ別で一覧表示します。
18			ファイル管理	ファイル管理

## 4. 2. 管理画面

### ■グローバルメニュー【モジュール】



#### ○項目説明

No	大分類	中分類	小分類	説明
19	モジュール	モジュール管理	モジュール管理	モジュールの一覧を表示します。
20		Doc Manager	テンプレート選択	任意のリソースにテンプレートの適用を行います。
21			テンプレート変数	任意のリソースに、テンプレートへ登録されたテンプレート変数の適用を行います。
22			アクセス許可	アクセス許可の設定を行います。
23			メニュー整列	リソースツリー内のリソースの並び替えを行います。
24			その他	リソースの設定変更を行います。

## 4. 2. 管理画面

### ■グローバルメニュー【権限管理】

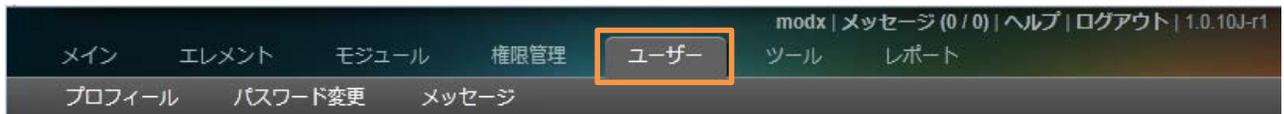


### ○項目説明

No	大分類	中分類	小分類	説明
25	権限管理	ユーザー管理	ユーザー管理	ユーザーの作成・設定変更を行います。
26		ウェブユーザ管理	ウェブユーザを作成	ウェブユーザの作成・設定変更を行います。
27		ロール管理	ロールを作成	ロール(役割)の作成・編集を行います。
28		ロックを解除	ロックを解除	管理画面の全てのページの排他状態を解除します。

## 4. 2. 管理画面

### ■グローバルメニュー【ユーザー】



#### ○項目説明

No	大分類	中分類	小分類	説明
29	ユーザー	プロフィール	プロフィール	ログインユーザーのプロフィールの確認・編集を行います。
30			管理画面の設定	ログインユーザーの管理画面利用時の詳細な設定を行います。
31		パスワード変更	パスワード変更	パスワードの変更を行います。
32		メッセージ	メッセージ	メッセージの送受信を行います。

## 4. 2. 管理画面

### ■グローバルメニュー【ツール】



#### ○項目説明

No	大分類	中分類	小分類	説明
33	ツール	バックアップ・リストア	バックアップ	サイトのバックアップをダウンロードすることができます。リストアにはこのファイルを用います。
34			リストア	「バックアップ」で取得したSQLファイルを用いて、サイトをリストアできます。
35			スナップショット	現在のデータベースの内容を保存し、それを復元することができます。
36		インポート	インポート	HTMLで記述されたサイトを丸ごとデータベースにインポートします。
37		エクスポート	エクスポート	サイト全体をHTMLファイルとしてエクスポートできます。書き出したファイルをまとめてサーバ上に転送すれば、通常のサイトと同様の運用が可能です。
38			ヘルプ	エクスポート機能についての説明を表示します。
39		グローバル設定	サイト	サイト名やサイトの説明など、サイトについての全体的な設定を行います。
40			フレンドリーURL	フレンドリーURLの設定を行います。この設定により、URLを静的なHTMLに見せることができます。
41			セキュリティ	サイトのセキュリティに関する設定を行います。
42			管理画面の設定	管理画面の設定を行います。
43			ファイル管理の設定	ファイルのアップロードやパーミッション等、ファイル操作に関する設定を行います。

## 4. 2. 管理画面

### ■グローバルメニュー【レポート】



#### ○項目説明

No	大分類	中分類	小分類	説明
44	レポート	公開状態の一覧	公開状態の一覧	リソースの公開状態や公開取り消し予定の一覧を表示します。
45		イベントログ	イベントログ	MOD Xのシステムが出力した告知・警告・エラーの各メッセージを表示します。
46		管理操作ログ	管理操作ログ	管理画面の操作履歴を検索・表示することができます。
47		システム情報	システム情報	MOD Xシステムの情報を表示します。
48			詳細情報	MOD Xシステムの詳細な情報を表示します。
49			最近編集したリソース	最近編集されたリソースの一覧を表示します。リソース名をクリックすることで情報を閲覧することができます。
50			テーブル一覧	データベースのテーブル一覧を表示します。
51			オンラインユーザ	現在管理画面にログインしているユーザーの一覧を表示します。

# 4. 2. 管理画面

## ■ リソースツリー

### ○ 基本構成

ツリー内のすべての階層構造を展開

ツリー内のすべての階層構造を縮小

リソースを投稿

ウェブリンクを作成

リソースツリーの再描画

ツリーの並び替え

削除済みリソースを完全消去

リソースツリーを非表示

各リソース名の後ろに表示される括弧内の数字はそのリソースのIDとなります。

MODX デモサイト

- Home (1)
- 新着情報 (2)
  - サイトをオープンしました。 (7)
  - 新サービスのお知らせ (5)
- MODXの主な特長 (8)
- サポート (12)
- お問い合わせ (3)
  - フォーム本体 (14)
  - 送信メールのひな型 (15)
  - ありがとうございます (13)
- てすと1 (16)
- 404 - Document Not Found (4)
- RSS フィード (6)

MODXの主な特長 (8)

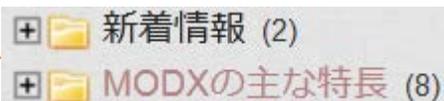
- 拡張性豊かなデザインワーク (9)
- メニューとリスト (10)
- コンテンツ管理 (11)
- サポート (12)

ファイルアイコンの[+]をクリックするとアイコンが[-]に変化し、内包されているファイル群を展開します。再度ファイルアイコンの[-]をクリックすると内包されているファイル群を収納します。

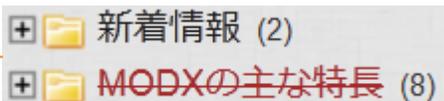
## 4. 2. 管理画面

### ○コンテキストメニュー

リソースのアイコンをクリック、またはリソース名を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。



公開リソースは太字、  
非公開リソースは赤文字 + 淡字で  
表示されます。



公開リソースは通常通り、  
削除済みリソースは赤文字 + 字消し線で  
表示されます。

# 5. 操作説明

MODXにてコンテンツを管理する方法について説明します。

以下に掲載しているページを作成する過程を元に、基本的なMODXの操作を説明します。  
当説明書で利用しているテンプレートは、MODXの公開ホームページに掲載されているサンプルを元に若干のカスタマイズをして作成しています。

## ■ 5. 1. リソースの投稿（作成）で作成するサンプルページ

20頁～



WEBページのコンテンツ部分を  
リソースの作成機能にて作成します。

文章の配置方法や  
画像のアップロード  
スニペットの利用方法  
を参考下さい。

画像の挿入に関する説明は、  
「頁26 5. 1. リソースの投稿（作成）」  
を参照下さい。

## ■ 5. 2. テンプレートの編集で作成するサンプルページ

29頁～



テンプレートの編集方法を  
説明します。

テンプレートを編集することで、  
簡単に全体のイメージを変更する  
ことができます。

# 5. 1. リソースの投稿（作成）

本章で作成するサンプルページの構成要素です。

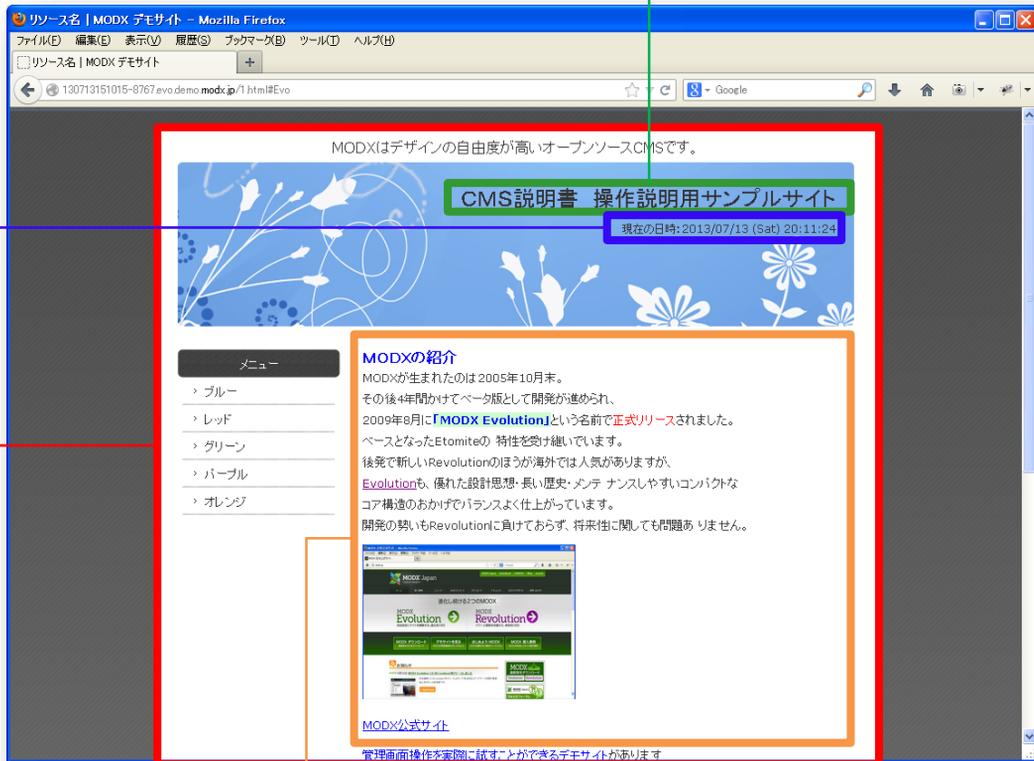
## <<テンプレート>>

WEBページの外観をMODXのテンプレートという機能を利用して作成しています。

## <<チャンク>>

チャンクという機能を利用してタイトルを表示しています。5.2.テンプレートの編集箇所にて具体的な記載方法を説明します。

チャンクについての説明は、「頁34 5. 3. その他」を参照下さい。



## <<スニペット>>

スニペットという機能を利用して現在の日時を取得する処理をPHPという言語で記載して表示させています。

スニペットについての説明は、「頁35 5. 3. その他」を参照下さい。

## <<リソース>>

次頁で説明する内容になります。この部分を作成し投稿することでWEBページを効率よく更新し管理することが可能となります。

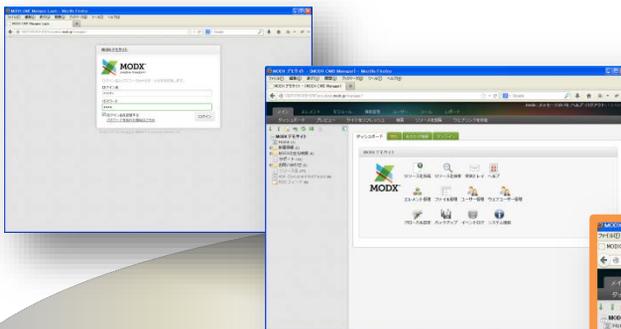
# 5. 1. リソースの投稿（作成）

MODXは、一般的にWEBページのコンテンツに当たる部分をリソースと表現しています。リソースを投稿（作成）して公開することにより、簡単にWEBページを作成できます。

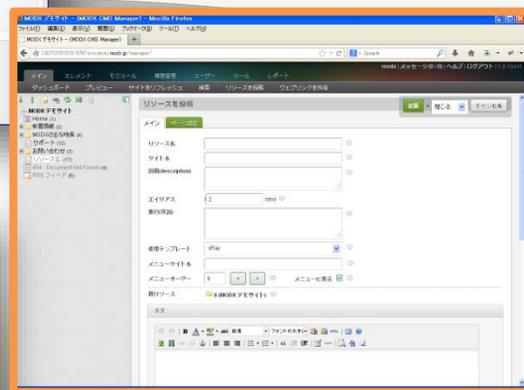


このコンテンツ部分をリソースと言います。

MODXの管理画面のリソースの投稿機能により、リソースの作成を行います。そして、リソースの公開を行うことでWEBページが外部に公開されます。



この画面でリソースを投稿します。



リソースの投稿でWEBページが完成します。主にこのリソースを管理することでWEBサイトの更新が効率よく行えます。

# 5. 1. リソースの投稿（作成）

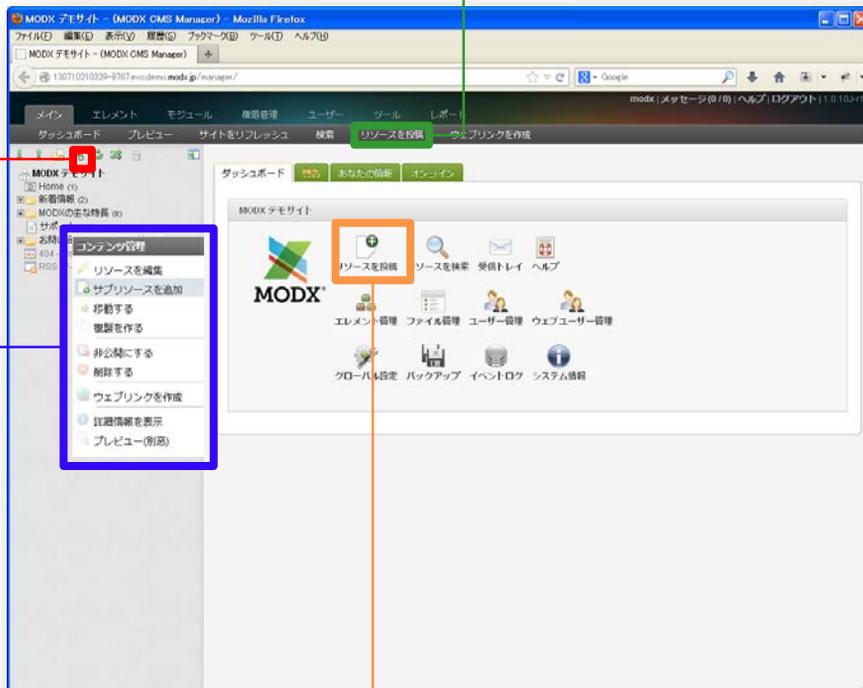
## ■ リソースの投稿方法

リソースの投稿（新規作成）は、以下の4つの方法があります。

- ・ 管理画面初期起動時のダッシュボードから「リソースを投稿」をクリック
- ・ 「メイン」 → 「リソースを投稿」をクリック
- ・ 「リソースツリー」右クリック → コンテキストメニューの「サブリソース追加」
- ・ 「リソースツリー」上部の「リソースを投稿」アイコンをクリック

アイコン「」をクリックすると「リソースの投稿」画面が起動します。

リソースを投稿をクリックすると「リソースの投稿」画面が起動します。



右クリックするとコンテキストメニューが表示します。「サブリソースを追加」をクリックすると「リソースの投稿」画面が起動します。

リソースを投稿をクリックすると「リソースの投稿」画面が起動します。

上記では、リソースの投稿画面の起動方法を4種類紹介しています。どの方法でも同様のリソース投稿画面が起動します。利用しやすい方法をご利用下さい。

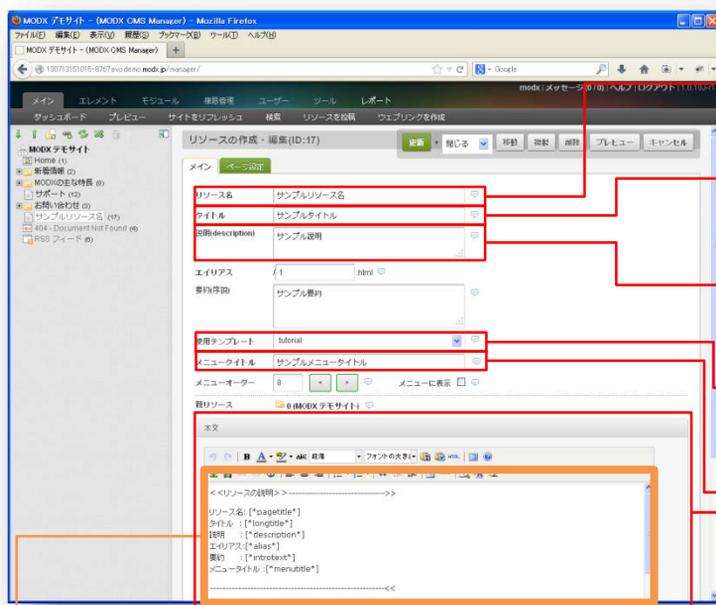
# 5. 1. リソースの投稿（作成）

## ■ リソースの投稿画面

リソースの投稿画面です。当画面でリソースを作成します。

たくさんある設定項目は、MODXがリソースを管理する上で必要になります。

また、リソース変数という形でリソース本文で利用することもできます。



<<主な設定項目>>

- **リソース名**  
リソースツリーでの表示はこの名称になります。  
リソース変数は[\*pagetitle\*]
- **タイトル**  
通常ページ本文の冒頭の見出しに使用します。  
リソース変数は[\*longtitle\*]
- **説明**  
METAタグのdescriptionに入る文言。  
リソース変数は[\*description\*]
- **使用テンプレート**  
そのドキュメントを表示するためのデザイン・テンプレート。プルダウンで選択。
- **メニュータイトル**  
サイトのメニューに表示される際の名称。  
リソース変数は[\*menutitle\*]
- **本文**  
WEBページの本文  
リソース変数は[\*content\*]  
**次頁で詳しく説明します。**

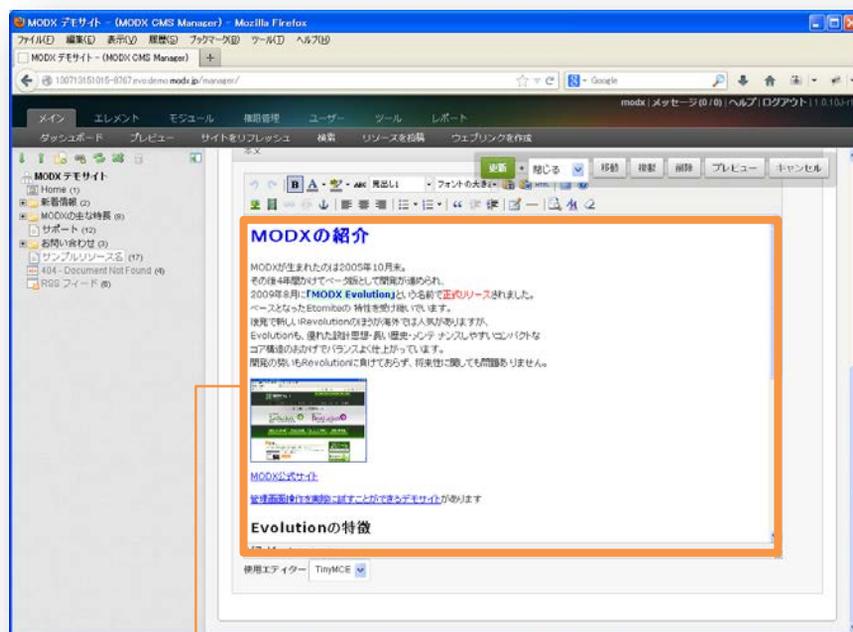
上記リソース本文が、下記WEBページに対応しています。



このWEBページでは、リソース投稿画面のリソースの本文でリソース変数[\*リソース変数名\*]と設定した箇所が、リソース投稿画面で設定した各項目の値に置き換わり表示されていることが確認できます。  
必要に応じてご使用下さい。

# 5. 1. リソースの投稿（作成）

リソースの投稿画面の「本文」にて設定した内容が主にどのようにWEBページに反映されるのかを実際のサイト表示側と比べています。



<<主な設定項目>>

- **太字**  
「**B**」アイコン  
選択した文字を太字にします。
- **文字の色**  
「**A**」アイコン  
選択した文字の文字色を変更します。
- **背景色**  
「**ab**」アイコン  
選択した文字の背景色を変更します。
- **ファンとの大きさ**  
「**フォントの大きさ**」コンボボックス  
選択した文字の大きさを変更します。
- **画像挿入**  
「**🌱**」アイコン  
本文のフォーカスを置いた場所に  
目的の画像を挿入します。

 画像の挿入の詳しい説明は、「[頁26 5. 1. リソースの投稿（作成）](#)」を参照下さい。

- **リンクの挿入や編集**  
リンクを張りたい単語を選択すると「**🔗**」アイコンが押せる状態になります。「**🔗**」アイコンをクリックすると「**リンクの挿入/編集**」画面が起動します。

上記の説明以外にも様々な編集機能が用意されています。  
ご活用下さい。

# 5. 1. リソースの投稿（作成）

## ■ リソースの公開

リソースの投稿画面にてリソースを作成してもリソースが外部に公開されているとは限りません。「ページ設定」タブを参照して下さい。

公開ステータスのチェックがONになっていれば、公開されています。

一方、OFFになっている場合は、公開されていません。

必要に応じて設定後、「更新」ボタンをクリックして反映して下さい。

**未公開のリソース**

リソースが未公開の場合、「リソースツリー」の表示が赤くなっています。

リソースの作成後、リソースの公開ステータスの初期状態の設定ができます。  
「ツール」→「グローバル設定」→「サイト」  
以下のような設定項目があります。必要に応じて設定して下さい。

公開デフォルト

- はい
- いいえ

新しく作成するリソースをデフォルトで公開に設定する場合は「はい」を選択してください。

# 5. 1. リソースの投稿（作成）

## ■ファイルのアップロード

ファイルのアップロードを行う方法を説明します。

もっとも利用頻度が高い、画像のアップロードを例にします。

ファイルをアップロードし、それをリソースの本文に配置するまでを説明しています。

画像のアップロードを行う方法は、以下の2つの方法があります。

- ・リソース投稿画面の本文にて、「」アイコンをクリック

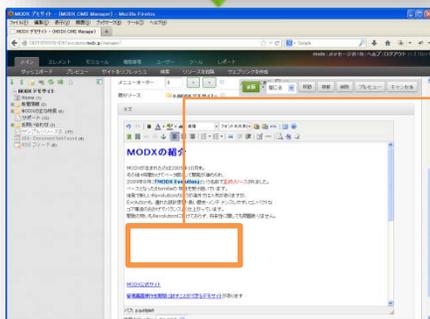
→表示される画面から「画像のURL参照画面」を起動し目的のファイルをアップロード

- ・「エレメント」→「ファイル管理」からファイルを配置したいフォルダを選択後、「アップロードを実行」をクリック

ここでは、弊社が推進する方法（上記の2種類の方法を合わせて利用する）で、画像をアップロードする方法を説明します。



この部分に画像を設定します。  
この画面イメージは、設定前の画面イメージです。

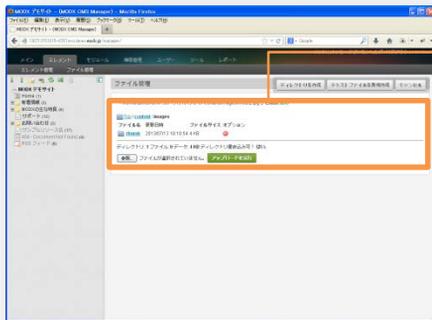


リソースの投稿画面です。  
これから、この部分に画像を設定します。

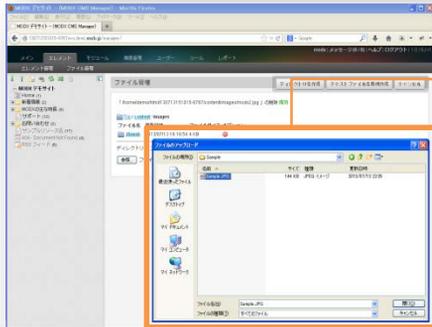


「エレメント」→「ファイル管理」をクリックします。  
MODXにて管理されているファイルが表示されています。

# 5. 1. リソースの投稿（作成）



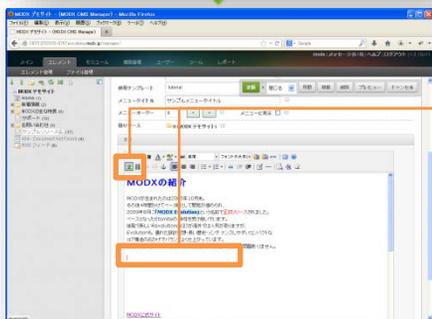
「content」→「images」を選択して下さい。  
「Top / content / images」と表示されています。  
「参照…」ボタンをクリックして下さい。



「ファイルのアップロード」ダイアログが表示されます。  
ここで、アップロードするファイルを選択して下さい。  
このイメージでは、「Sample.JPG」を選択しています。  
選択後、「開く」ボタンをクリックして下さい。

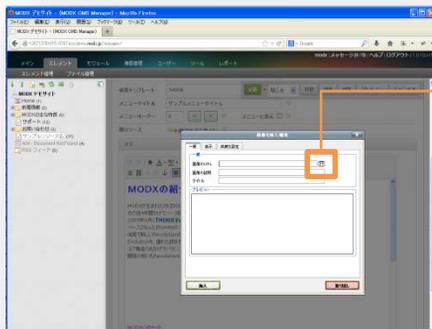


これで、ファイルがアップロードができました。  
「ファイルのアップロードが完了しました。」と表示されていることが確認できます。  
「Sample.JPG」がTop / content / images配下に配置されていることが確認できます。

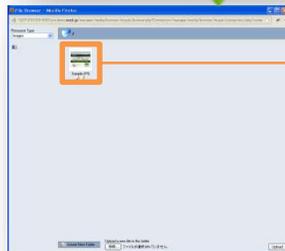


「リソースの投稿」画面です。  
画像を挿入したい箇所にカーソルを置き、「」アイコンをクリックします。

# 5. 1. リソースの投稿（作成）



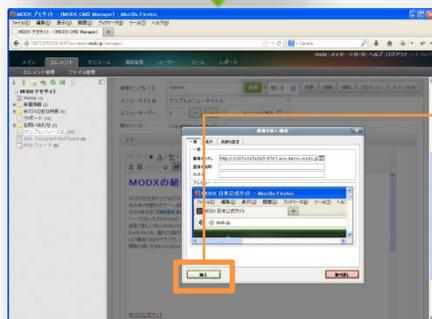
「画像を挿入／編集」画面が表示されます。  
閲覧アイコン「」をクリックして下さい。



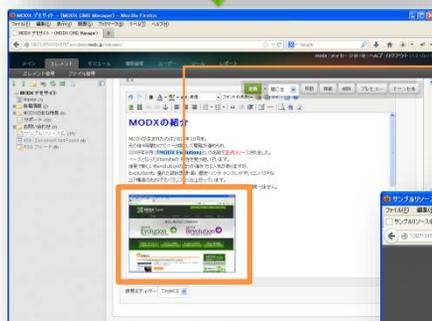
「画像閲覧」画面が表示されます。  
「エレメント」→「ファイル管理」でアップロードした  
画像ファイル「Sample.JPG」が表示されます。  
「Sample.JPG」の画像をクリックして下さい。



ここで目的の画像が表示されない場合は、  
「エレメント」→「ファイル管理」にて、  
「Top / content / images」配下に目的の  
画像が配置されているか確認して下さい。



「画像を挿入／編集」画面に戻ります。  
画像が選択されていることが確認できます。  
「挿入」ボタンをクリックします。



「リソースの投稿」画面で、フォーカスを設定してい  
た箇所に画像が挿入出来ました。  
WEBページを見てみると  
画像が挿入出来ていることが確認できます。



# 5. 2. テンプレートの編集

リソースの投稿でリソースの部分を作成しました。  
WEBページの構成要素の大部分はテンプレートが占めています。  
当章ではMODXがテンプレートをどこで管理していて、  
どのようにすれば編集が出来るのかを説明します。

## ○編集前



リソースの作成で作成した  
リソースの本文部分は変わりませんが、  
全体のイメージが大きく変わっています。

ここでは、  
大部分のHTMLを編集することなく、  
テンプレートの編集のみで、  
ページの変更を行っています。

## ○編集後

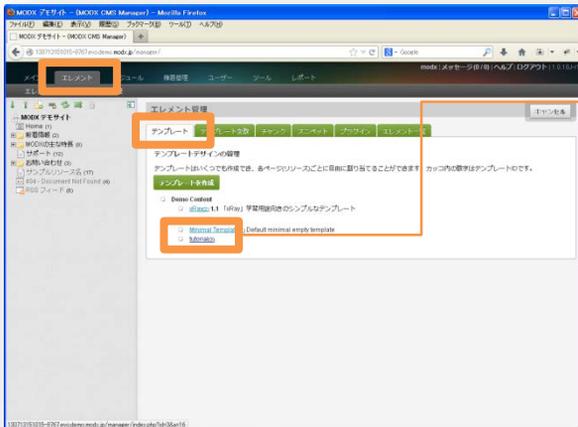


# 5. 2. テンプレートの編集

## ■テンプレートの編集

テンプレートは以下のメニューで管理されています。

- ・ **エレメント管理** → **テンプレート**



編集したいテンプレートをクリックします。今回は「tutorial」を選択しています。この「tutorial」は、当説明書用に作成したテンプレートになります。

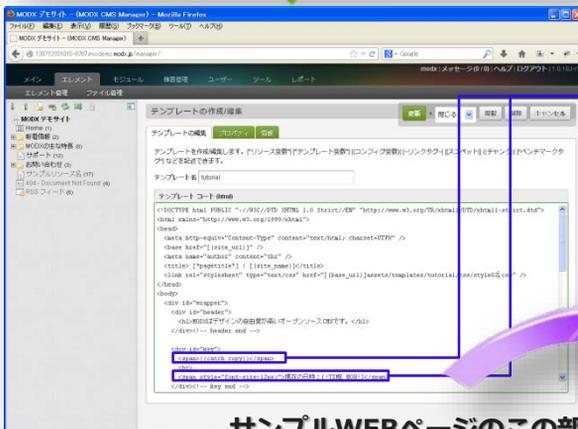


このテンプレートは、MODXの公式サイトで公開されているテンプレートになります。ご利用されたい方は、MODXの公式サイトを参照下さい。テンプレート名：「tutorial」で作成する手順が掲載されています。



テンプレート編集画面です。テンプレートは、HTMLで記載されています。必要に応じて、HTMLを編集します。編集後、更新ボタンをクリックすることにより、変更がWEBページに反映されます。

今回は、テンプレートで利用しているスタイルシートを変更したのみです。  
(変更前:style.css 変更後:style02.css)  
この変更でこのテンプレートを利用して作成されたWEBページは一括で変更されます。



### <<補足>>

ここでは、チャンク{{catch\_copy}}やスニペット[!TIME\_NOW!]を利用しています。このように、テンプレート内で、これらのエレメントを利用することが可能です。



サンプルWEBページのこの部分に対応しています。

## 5. 3. その他

基本操作以外で、利用頻度が多い操作について記載します。

### ■ リソースの削除

リソースの削除について説明します。

MODXでは、「リソースの削除」→「リソースの消去」という手順で、リソースを完全に削除することができます。

一方、「リソースの削除」実施後、そのリソースを選択し、

「削除から復活」を実行すると一度削除したリソースを削除前に戻すこともできます。

「リソースの消去」を実施した場合は、元に戻すことはできません。

リソースの削除は、以下の2つの手順を実施します。

#### 1. 「リソースツリー」右クリック → 「削除する」をクリック

<表示例>

- ・ 通常のリソースがリソースツリーに表示されている状態

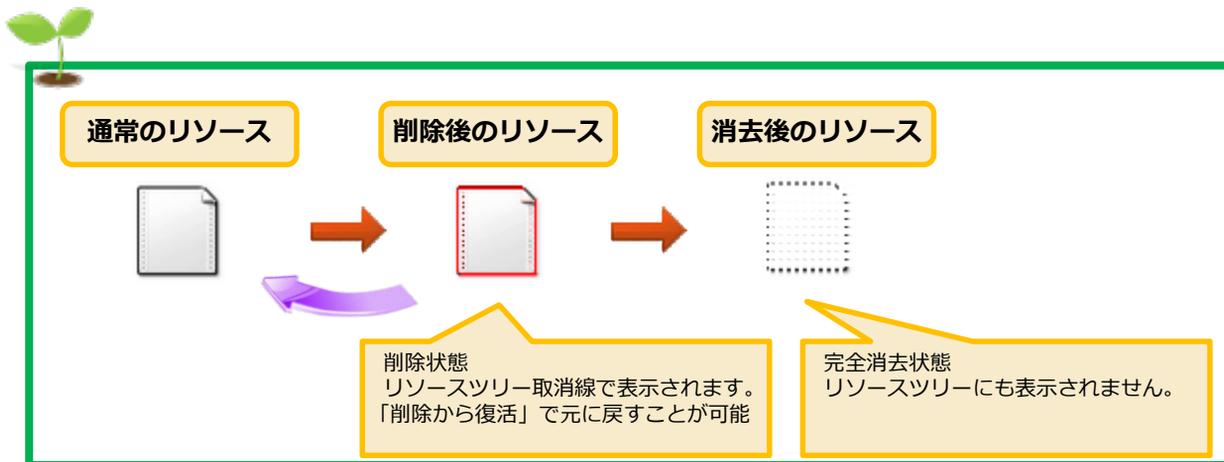
サンプルリソース

- ・ 削除後のリソースがリソースツリーに表示されている状態

~~サンプルリソース~~

#### 2. 「リソースツリー」の消去アイコンをクリック

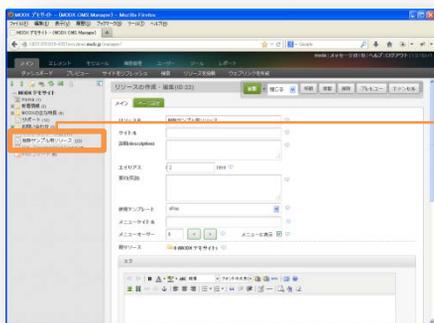
この操作でMODXから完全にリソースが削除されます。



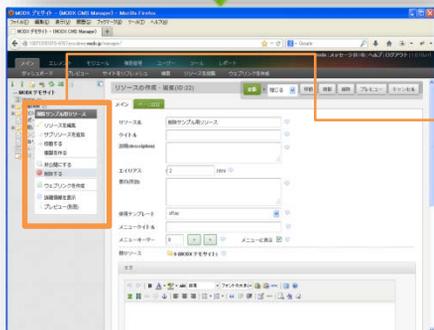
次頁から実際の画面イメージと共に削除操作に関して説明します。

# 5. 3. その他

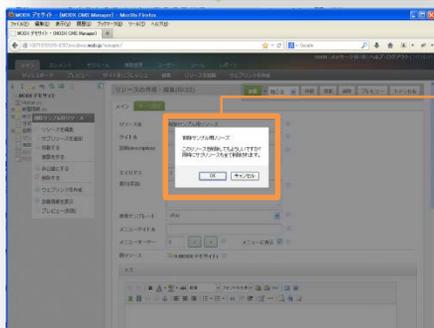
## ○リソースの削除



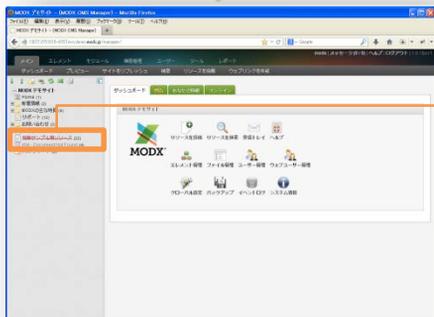
削除操作を理解して頂く為、  
削除用のリソース「削除サンプル用リソース」  
を作成しています。  
これから、このリソースの削除を行います。



「削除サンプル用リソース」を選択し  
右クリックすると「コンテキストメニュー」  
が表示されます。  
「削除する」を選択します。



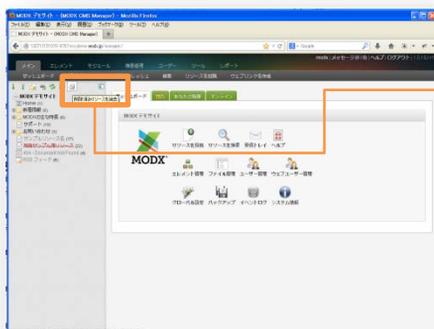
削除確認ダイアログが表示されます。  
「OK」をクリックします。



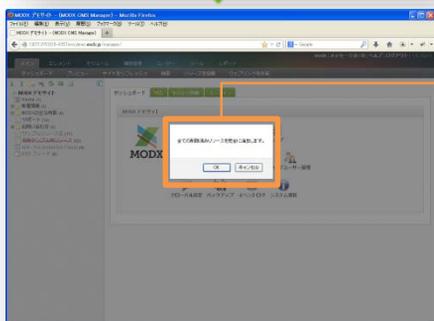
リソースが削除されました。  
リソースツリーに取り消し線でリソースが  
表示されていることが確認できます。

# 5. 3. その他

## ○リソースの消去



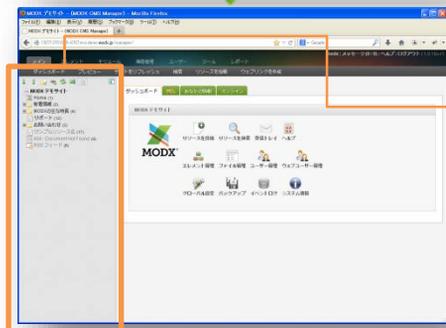
次は消去を行います。  
リソースツリー上の消去アイコンをクリックします。



確認ダイアログが表示されます。  
「OK」をクリックします。



**一度、消去したリソースは元に戻せません。  
消去の際は、対象となるリソースを  
十分に確認してから実行して下さい。**



消去されました。  
リソースツリーにもリソースが表示されていないことが確認できます。

## 5. 3. その他

### ■ チャンク

MODXの機能に「チャンク」があります。

チャンクとは、リソース間で共通利用することができる静的部品です。

特徴は、HTMLやJavaScript・CSSを利用できる点です。

どのような利用用途があるでしょうか？

例えば、リソースをたくさん作成し、どのリソースにも同じ内容を記載するような必要があるとします。

当然、どのリソースにも同様の内容を記載すれば問題ないのですが、

もし、その箇所に変更が必要となった場合、全てのリソースを変更していかなくてはなりません。

大変な手間です。変更漏れが発生するかもしれません。

そのような場合、チャンクが威力を発揮します。

共通化できる部分を纏めて、チャンクを作成しましょう。

そして、リソースからは、チャンクを呼び出すようにします。

変更が発生した場合、そのチャンクを1つ修正すれば全てのリソースに反映できます。

### ○ 作成／編集方法

チャンクは以下のメニューで管理されています。

・ **エレメント管理** → **チャンク**



すでに登録されている「チャンク」が表示されています。  
作成する際は「チャンクを作成」をクリックして下さい。

### ○ 利用方法

リソース本文やテンプレート本文に、以下のように記載することにより、チャンクの機能を利用できます。

{{チャンク名}}

## 5. 3. その他

### ■スニペット

MODXの機能に「スニペット」があります。

スニペットとは、各リソースで共通で利用することができる動的部品です。

特徴は、PHPというプログラム言語で記載するファイルであることです。

前頁で紹介したチャンクと似ていますが、スニペットは、PHPで記載できるので、チャンクより、柔軟で複雑な条件の共通部品を作成することができます。

また、スニペットは、パラメータ（引数）を設定することもできます。

つまり、パラメータ（引数）をスニペットに渡すことにより、

条件判断（この場合は、この処理をするなどの処理）を有した処理の実装が可能になります。高度な機能ですので、当説明書では詳しい説明は割愛します。

詳しい内容がお知りになりたい方は、MODXの公式ページに情報がありません。

そちらを参照下さい。

### ○作成／編集方法

スニペットは以下のメニューで管理されています。

・ **エレメント管理** → **スニペット**



すでに登録されている「スニペット」が表示されています。作成する際は「スニペットを作成」をクリックして下さい。

### ○利用方法

以下のように記載することにより、スニペットの機能を利用できます。

[[スニペット名]]

※[!スニペット名!]という呼び出し方もあります。キャッシュを利用したくない場合です。

# 5. 3. その他

## ■ ユーザーの作成および権限の設定について

MODXは、ユーザーを自由に追加することができます。

そして、そのユーザーに、このリソースは編集できるがこのリソースは編集できない等の制限（権限）を設定することができます。ユーザーやリソースをグループ化し、そのグループ同士を関連付けることで実現しています。

以下の設定が必要になります。

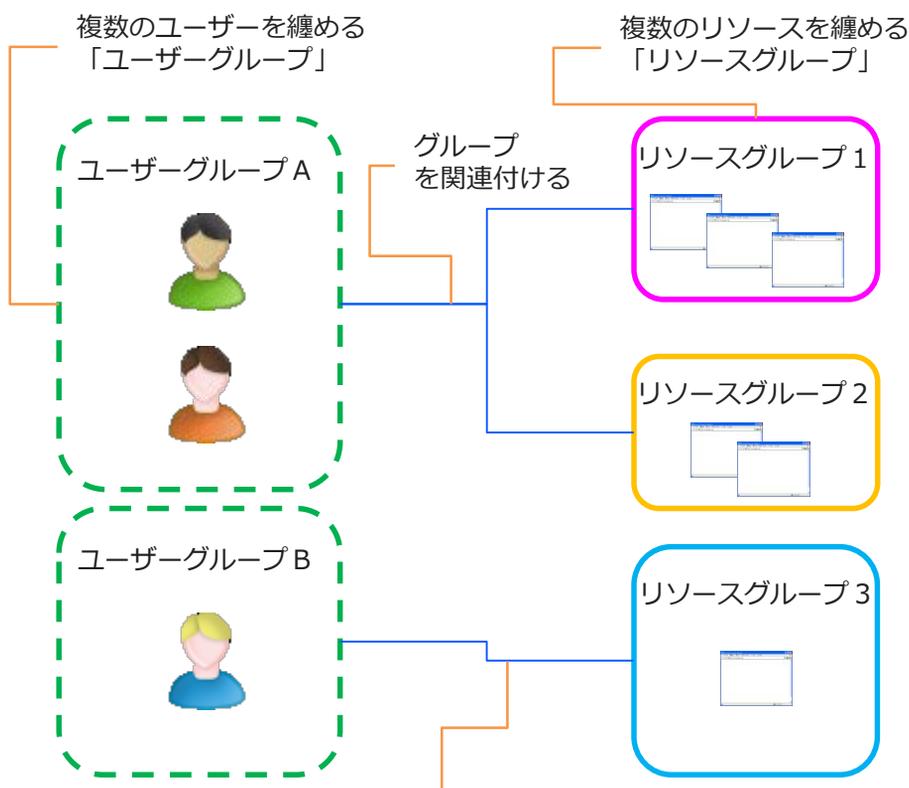
- ・ ユーザーグループの作成
- ・ ユーザーにユーザーグループを関連づけ
- ・ リソースグループの作成
- ・ リソースにリソースグループを関連付け
- ・ ユーザーグループとリソースグループを関連付け

## ○ 設定イメージ



管理者

管理者の権限を持つユーザーが設定します。  
この設定を利用し、ユーザー毎にリソースの参照制限を行います。



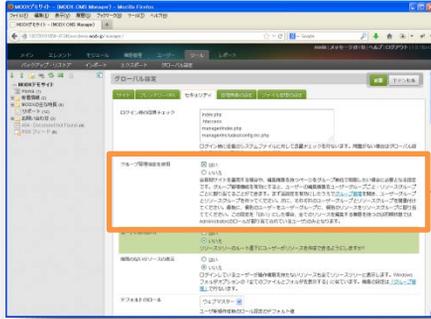
この場合、ユーザーグループ Bは、リソースグループ 3しか参照出来ないということになります。

次頁から、上記の設定手順を詳しく説明します。

# 5. 3. その他

## ○設定手順

以下の手順で設定を行います。



1. 「ツール」 → 「グローバル設定」 → 「セキュリティ」グループ管理機能を利用 → 「はい」を設定します。



初期値は、「いいえ」になっています。  
この設定を行わないと、以下に記載している「グループ管理」のメニューがMODXに  
表示されません。



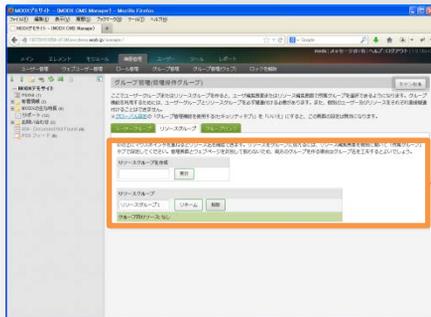
2. 「権限管理」 → 「グループ管理」 → 「ユーザーグループ」タブを選択します。  
ユーザーグループを作成します。



3. 「権限管理」 → 「ユーザー管理」  
ユーザーを作成または、ユーザーを選択して「ユーザーの作成/編集」画面を表示します。  
「所属グループ」タブを選択し、ユーザーに作成したユーザーグループを設定します。



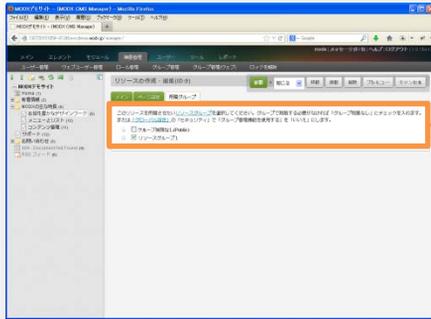
各ユーザーとユーザーグループの関連付け



4. 「権限管理」 → 「グループ管理」 → 「リソースグループ」  
リソースグループを作成します。

# 5. 3. その他

## 前頁の続き



- リソースツリーからリソースを選択します。  
「リソースの作成・編集」画面 →  
「所属グループ」タブを選択します。  
作成したリソースグループが表示されるので、  
リソースグループを設定します。

 各リソースとリソースグループの関連付け



- 「権限管理」 → 「グループ管理」 →  
「グループリンク」タブを選択します。  
作成したユーザーグループと  
リソースグループを関連付けます。

 ユーザーグループとリソースグループの関連付け

上記の設定でユーザーのリソースへのアクセスを管理することができます。  
必要に応じて利用して下さい。

# 6. 特記事項

---

# 7. 参考URL

MODXの情報が公開されているURLを以下に記載します。

## ■ MODX公式サイト

<http://modx.jp/>

MODXに関して最新の情報が分かりやすく掲載されています。

また、本説明書作成にも利用しましたが、最新のバージョンでネット上に簡単にデモサイトを構築することができます。操作やシステムの検証などに利用できます。

## ■ 本説明書で利用したサンプルテンプレート

[http://modx.jp/docs/tutorial/howto\\_make\\_template.html](http://modx.jp/docs/tutorial/howto_make_template.html)

MODXの公式サイトページ内にある、「サイト用テンプレートの作り方」です。本説明書で利用しているテンプレートが掲載されています。

このページに記載されている通りの手順を行えば、本説明書で利用している「tutorial」というテンプレートが作成できます。

## 8. お問い合わせ

---

ご不明な点、その他ご要望などございましたら、  
お気軽に下記までお問い合わせ下さい。

**アプライド(株) 技術開発部**  
[create@applicats.co.jp](mailto:create@applicats.co.jp)

**〒810-0001**  
**福岡市中央区天神3-15-24 4階**

**TEL:092-712-3256**  
**FAX:092-712-3075**